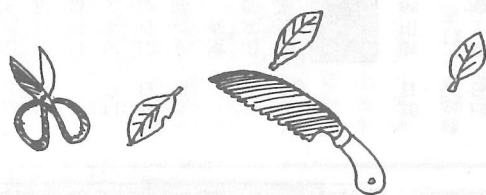


# 樹木の管理について



樹木の管理は、休眠期である「冬」がポイント  
 一月から二月にかけて、植木は休眠期に入っています。常緑樹は冬でもわずかに活動をしています。休眠状態に近くなっています。  
 整枝、剪定や施肥、病害虫防除の作業は休眠期である冬が適期です。

●病害虫の防除  
 被害が出たからの退治がやっかいなカイガラムシやダニ類は、今が防除適期です。マシン油乳剤の散布を一月中に行います。油が虫の体を覆い窒息死させると考えられています。その後一カ月以上あけて殺虫、殺菌の両方に効果がある石灰イオウ合剤を散布します。



●刈り込み、枝抜き作業  
 樹液が動いていないので、刈り込みや枝抜きが思いきってできます。ただしシイやモチ等の常緑樹の太い枝の剪定は、春の彼岸過ぎが無難です。枝を切った切り口には、トップジンMベースト等の殺菌剤を塗り、病原菌の侵入を防ぎます。

お問い合わせは  
**普及センター**  
**松尾駐在**  
**☎86-4121~2へ**

- 樹木の治療も冬場が適期  
 枝や幹に腐りが入った樹は、早めに対処します。
- 治療手順としては、  
 一、よく観察し、診断する  
 二、腐っている部分を測定する  
 三、腐っている部分を刃物等で削り取る  
 四、傷口にトップジンMベーストを塗り、殺菌処理をする  
 五、傷口の大きさによっては発泡性ウレタンを傷口につめる  
 造形樹で幹や太い枝の分かれた部分等に落ち葉や雨水が溜まると腐りの原因となり易いので、溜まらないような管理を日頃から心がけましょう。

果樹花き科 増田

●この菌は、菌糸や胞子の形で落ち葉や樹木の枝上で越冬しています。  
 ●落ち葉の処理や病気や枯れ枝の剪定は、春以降に病気を持ちこさないために大切な作業です。  
 ●薬剤だけに頼るのではなく、病気の性質を知り、事前に発生を抑えていくことも、立派な病害虫防除法の一つです。

## 文芸

### 俳句

りんご売るお国訛の農夫かな

今関 茂生

夜の雨一ときやみて虫しぐれ

小林 順子

虫の音や祖父の使ひし杵古りて

福田 晴一

晩学の吊す一燈虫の声

鈴木 草庵

集会の終る家路や虫の闇

若梅あやめ

浜風や砂に埋れて草の花

福田 幸子

小高きは古墳かと見し草の花

土屋 栗水

虫すだく山ふところのおらが里

玉虫たけし

五十年來し道づれや草の花

藤代 ゆう

道あれば道に添ひゆく草の花

戸村 静華

やわらかき小春日まとい観世音

選者 山口 一秋

### 短歌

草刈り機の音絶え間なく響き来て  
宅地になるらしこの広き野も

八角 三枝

センサーの小鳥が店頭に止まり  
てチチと鳴きつつ迎へくれたり

秋葉 悦子

この畑も耕地整理でなくなるかの  
こる里手刻かけて掘る

秋葉 とく

この夏は雨の少なき日が続き葱の  
育ちの丈の短かし

掛川 友代

身にまとふものみな地味となりて  
きぬ明るきスカーフ今日は買ひた

宇井 ちい

急ぎゆけば乗せてくれむか吾が屋  
根にいまし出でそむ赤き半月

中越美代子

芒の穂むかご烏瓜採りためて孫等  
は秋を手に持ち帰る

鈴木 やす

あかあかと落ちゆく夕日背に受け  
て草とり終へし畝を数ふる

押尾 輝子

二十五年働き続けし冷蔵庫けふで  
別れと拭きてやりたり

石井 ユク

吊り皮につかまる人らをいちやう  
に傾がせ電車站に入りたり

洪谷 静子

歯はぬかず治療をせよと言ひし姑  
いまだ残るはお蔭と思ふ

向後 房

冠雪の富士山が見ゆ教へ子の婚祝  
ぐとゆく朝の電車に

選者 斎藤つね子

